

【フォト特集】

国際善隣協会による植林事業

村田嘉明



①記念植樹：姜団長&カウンターパート閻場長

し、山西省
林業草原局
およびカウ
ンターパー
トの関帝山
国有林管理
局と現地で
交流した。
現在日中
関係は政治
・経済とも
最悪の状態

国際善隣協会は、中国の環境問題への対処、交流を通じた環境意識の啓発などを目的とする、日中友好会館による日中植林・植樹国際連帯事業に2020年度から応募し、実施してきた。2023年度の事業承認が日中友好会館から下り、国慶節直前の9月23日に山西省公安厅から植林許可が下った。訪中団員は5名、先発隊3名（村瀬廣・牛木久雄・村田嘉明）は10月22日、後発隊2名（姜晋如団長・岡部終太「非会員」）は同月24日に出発した。中国の植林地・山西省太原市を訪問

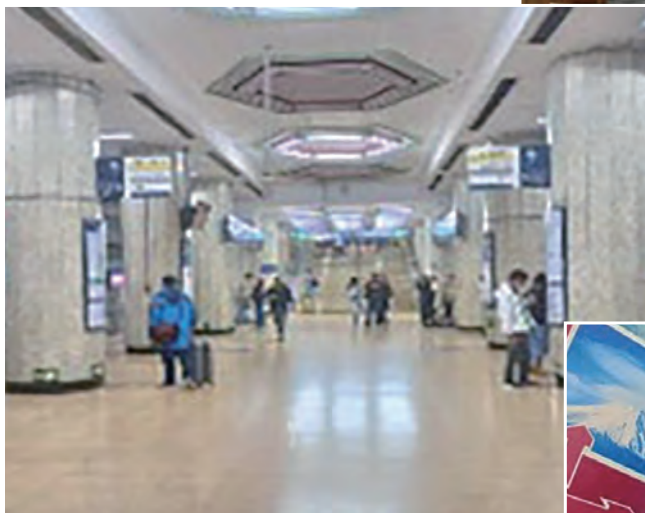
であるが、協会は植林・植樹をとおして交流を深めていきたいと思う。北京・上海など沿海地域との交流は一般的だが、内陸の山西省との交流は少ないように思う。10月31日に北京から帰国しておよそ2か月後、12月25日に山西省林業訪日団が来日したときは、協会は、林野庁、埼玉県の林業施設などを案内し、また歓迎会も開催するなどして交流を深めた。

協会顧問の八島継男氏は今般の訪中前の8月に現地を調査され、さまざまな助言をいただいた。深甚なる謝意を表す。また訪中企画全般にわたって労を取っていただいた国際交流委員前副委員長の小野寺悠子さんにお礼申し上げる。日中植林・植樹国際連帯事業については近々本誌で、国際交流委員会が文書報告を行うことになっている。本号では訪中団員の一人として、現地への「旅」をフォト特集として紹介する。

(撮影者が記されていない写真は筆者撮影)



②北京・前門前の MUJI ホテルに宿泊



③地下鉄2号線・東直門駅構内



④北京・王府井の中国婦女旅行社を訪問



⑥北京市豊台区内の回教寺院



⑤北京市豊台区内の回族料理店で羊肉の昼食
(撮影：岡部柊太)



⑧豊台発・太原行の高鉄車内



⑦山西省林業草原局による歓迎会



⑨山西雲頂山省級自然保護区管理局の四駆車で急峻な山道を岔口郷へ



⑩2020年に開通した太原の地下鉄2号線に乗車



⑪迎沢湖から望むライトアップされた太原市内（撮影：岡部柊太）



⑬晋祠公園の紅葉（撮影：岡部柊太）



⑫晋祠公園（太原市）にて全団員の記念撮影



⑭晋祠公園見学後、カウンターパート山西側による
答礼夕食会



⑮平遥古城（山西省晋中市）拱極門（北門）



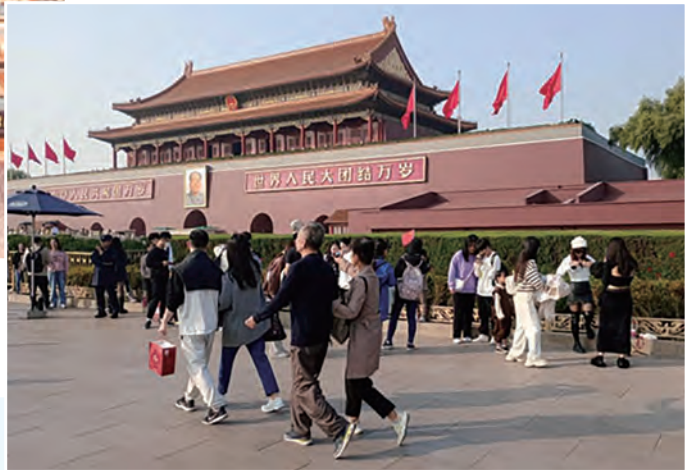
⑯平遥古城内の酢店



⑱大柵欄の漢方薬局・北京同仁堂



⑰平遥古城内で昼食



⑲天安門広場



⑳夕暮れの天安門広場に集う市民



㉑北京市昌平区蟒山国家森林公园



②③亮馬河飯店より望む北京市朝陽区のライトアップ



②蟒山国家森林公园内の鄧小平植林碑



②⑤亮馬河飯店正面



②④北京烤鴨店の調理実演